

こどもの絵本や読書に関するQ&A



同じ絵本ばかり「読んで」と言われるのですが…

こどもが同じ絵本ばかり読んでもらいたがるのは、その絵本が楽しく、読んでもらうことが心地よいからです。繰り返し絵本を読んであげることは、こどもにとって何よりの至福の時間です。求められればできるだけ繰り返し読んであげてください。

幼児期はあわてず、急がず、こどもの大好きな本を読んであげる時間をたっぷりとしてあげることを第一に考えてあげてください。



どんな絵本を読んだらいいのか分からない？

絵本を選ぶときの一つの目安として、「成人式を迎えた絵本」(出版されてから20年以上こどもたちに読み継がれてきた本)という選び方があります。長く読み継がれてきた絵本を読むことでどんな絵本がこどもにとって良い絵本なのか分かるようになります。

また、絵本はこども一人ひとりの心と体の成長にあわせて読んであげることが大切です。何歳だからと決めつけずに、こどもの興味関心をよく知ったうえでこどもの心にぴったりとくる絵本を読んであげましょう。



うちどく 家庭読書 (家読) の すすめ



「うちどく」とは…

読書を通じて家族のコミュニケーションを図る取り組みのこと。

読み聞かせはこどもの情緒や想像力を育て、言葉を覚える機会にもなります。

家族で本を読む時間を共にすることで、こどもの成長に気づききっかけとなるでしょう。

まずは読み聞かせを家族でスタートしてみませんか？

《発行》

草津市教育委員会事務局生涯学習課
TEL:077-561-2427
MAIL:shogaku@city.kusatsu.lg.jp

図書館(本館)
TEL:077-565-1818
MAIL:library@city.kusatsu.lg.jp

南草津図書館
TEL:077-567-0373
MAIL:minami-library@city.kusatsu.lg.jp

草津市教育委員会

● 読み聞かせのポイント ●

絵本を読み聞かせるということよりも、愛情表現やスキンシップ、コミュニケーションの時間だと思って、たっぷりほめて、見つめてよんであげましょう。こどもが愛情をいっぱい受けとめることで、「自分は愛されているんだ」と感じて、自然と自己肯定感が身につきます。

こどもの気持ちに合わせて、ページを行き来しても、途中で終わっても構いません。お母さんと一緒に、お父さんと一緒に、家族と一緒に、絵本を読むという環境が、何よりもこどもの健やかな成長につながります。家族で絵本の世界をわかち合う喜びをぜひ味わってみてください。

1～2歳は周りに興味がでてくる時期なので、食べ物や乗り物、人形など、お子さんの身近にあるものがテーマの絵本がおすすめです。



★家族で楽しめる 絵本の読み方★

1. 大人もこどもも楽しもう！
2. 絵本はこどもに読ませるのではなく、大人が読みましょう！
3. 絵本はくり返し読みましょう。
4. 絵本は読みっぱなしでもいいのです。(感想は聞かないで…)
5. 一日一冊でも読み続けましょう。



図書館



商業施設



イベント

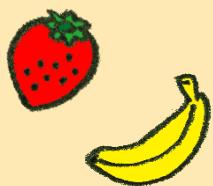
図書館や商業施設、イベントでの読み聞かせに家族での参加もおすすめ！

1歳半におすすめの本



くだもの

「くだもの」
平山 和子／さく
(福音館書店)



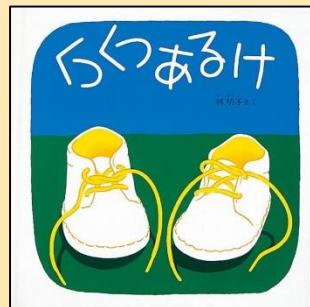
ぴよーん
まつおか たつひで

「ぴよーん」
まつおか たつひで／作・絵
(ポプラ社)



ずかん・じどうしゃ

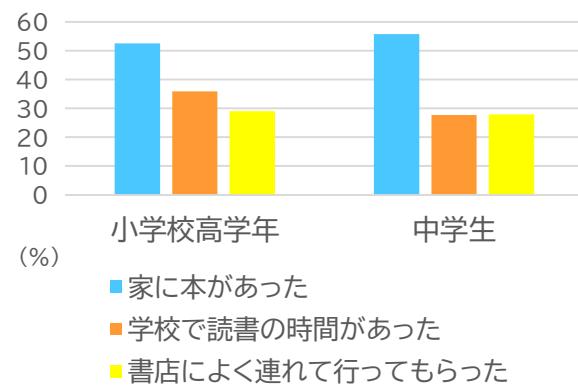
「ずかん・じどうしゃ」
山本 忠敬／作
(福音館書店)



くつつあるけ

「くつつあるけ」
林 明子／さく
(福音館書店)

読書を好きになったきっかけ



読書が好きなこどものうち、読書を好きになったきっかけは「家に本があった」から、と回答したこどもが**半数以上**！

家庭での読書環境が読書好きのこどもを育てることがわかります。

草津市教育委員会調査「令和6年度児童・生徒の読書習慣や読書環境に関する内容について」をもとに作成

読書の効果として…

- ・向学校的な意識(勉強や授業を楽しいと思う、など)
- ・自尊感情(自信や自己肯定感)
- ・新奇性追求(新しいことに興味をもつ、など)
- ・感情調整(自分の感情を調整する、など)
- ・肯定的な未来志向(将来に対して前向き、など)

にいい影響がみられます！

